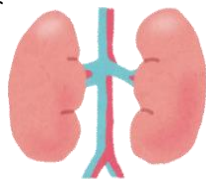




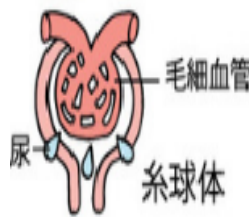
青葉若葉のさわやかな風の吹く季節になりましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？  
糖尿病腎症は、網膜症、神経障害とともに三大合併症として知られています。今月は、糖尿病腎症について腎臓の働きや腎臓が悪くなるとどうなるのか詳しくお話したいと思います。

## 腎臓って何をするとところ？

腎臓は、腰のあたりに左右1つずつあり握りこぶしくらいの臓器です。24時間休みなく私達の体を健康に保つために次のような仕事をしています。



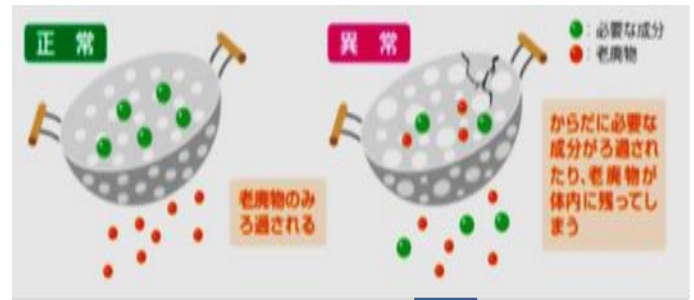
- ① 体内から老廃物を追い出す。  
腎臓には、糸のように丸まった「糸球体」と呼ばれるろ過装置があります。体に必要な成分、たとえばたんぱく質、赤血球、白血球、ミネラル類などの大きい粒子は、糸球体を通過せずにもう一度体の中に戻されます。一方、老廃物などのいらぬものは、尿と一緒に排出されます。
- ② 身体の水分や塩分が一定なるように、尿の量や濃さを調整する。
- ③ 血圧を調整する。
- ④ ホルモンを作り、赤血球の量やカルシウムの量を調整する。



## 糖尿病腎症とは？

高血糖状態が続くと糸球体の血管が硬くなる、つまり動脈硬化を起こしたり、糖分の多いドロドロした血液によって血管が傷ついてしまいうろ過がうまく機能しなくなります。

その結果、体に必要な成分蛋白などが漏れ出したり、老廃物がきちんと排泄できなくなってしまい腎臓が機能しなくなり腎不全になってしまいます。



腎不全

## 腎不全になるとどうなる？

「糸球体」が傷つくとろ過する働きが弱くなり、更に進行すると尿をつくることすら止めてしまいます。最終的には腎臓の代わりとして人工透析をうけなくてはならない時もあります。

### 人工透析治療

血液中にたまった余分な水分や老廃物を抜く治療

- ・週3回程度、1回につき数時間かかる。
- ・体の負担が大きい
- ・医療費が家計を圧迫
- ・仕事や日常生活への影響



## どんな検査でわかるの？

尿中の微量アルブミン→早期の腎症に有効な検査です。

アルブミンは血液にあるたんぱく質の一種で尿中にはほとんど漏れ出すことはありません。腎症は尿試験紙の検査で蛋白が陽性になる前の初期から尿中微量アルブミン排泄量が増えます。糖尿病の方は腎機能障害の進行が早いため、微量アルブミン尿を測定して、より早期から治療を始める必要があります。